

平成16年度 北日本看護学会 第8回総会

資 料

日時：2004年8月29日(日) 13時00分～14時00分
会場：東北大学医学部 臨床大講堂

プログラム

I 開会

II 報告事項

- 1 理事会・評議員会報告……………資料4 (p.7)
- 2 庶務報告……………資料7 (p.10)
- 3 編集委員会報告……………資料8 (p.11)
- 4 研究奨励会報告……………資料9 (p.20)
- 5 その他

III 審議事項

- 1 会計報告……………資料10 (p.21)
- 2 北日本看護学会誌投稿規定の改訂について……………資料8 (p.11)
- 3 北日本看護学会プライバシーポリシー(会員情報保護方針)について……………資料15 (p.29)
- 4 事業計画案……………資料11 (p.22)
- 5 予算案……………資料14 (p.28)
- 6 その他

IV 第9回北日本看護学会学術集会会長挨拶

V 閉会

北日本看護学会会則

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、北日本看護学会（North Japan Academy of Nursing Science）と称する。

(事務局)

第2条 本会は、事務局を山形大学医学部看護学科内に置く。

第2章 目的および事業

第3条 本会は、看護の実践ならびに研究に広く携わる者により組織され、看護の臨床、教育、研究の進歩発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 学術集会の開催
- (2) 学術講演会の開催
- (3) 学会誌の発行
- (4) 関係学術団体との連絡、提携
- (5) その他目的達成に必要な活動

第3章 会員および賛助会員

(会員)

第5条 本会の会員は、本学会の目的に賛同し、本学会の対象とする領域または関連のある領域において専門の学識、技能または体験を有する個人とする。

(賛助会員)

第6条 本会の賛助会員は、本学会の目的に賛同し、本学会の対象とする領域または関連のある領域において活動する個人または団体で、本学会の目的を遂行するために積極的に事業を後援することを表明したものである。

(会員の入会および退会)

第7条 本会の会員になろうとする者は、北日本看護学会入会申込書を本会事務局に提出し、理事会の承認を得なければならない。

2 退会しようとする者は、その旨を本会事務局に文書で申し出なければならない。

3 前項の規定にかかわらず、特別の理由がなくて2年以上会費を納入しない者は、退会したものとみなす。

(入会金および会費)

第8条 本会に入会を認められた者は、所定の入会金および年会費を納入しなければならない。なお、既納の入会金および会費は、入会を理事会が認めた後は、いかなる理由があってもこれを返還しない。

(会員の除名)

第9条 本会の会員、賛助会員が、本会の名誉を著しく傷つけた場合には、理事会の議決を経て、これを除名することができる。

第4章 役員

(役員)

第10条 本会は、次の役員を置く。

- (1) 理事長 1名
- (2) 副理事長 1名
- (3) 理事 若干名（常任理事 10名）
- (4) 監事 2名
- (5) 評議員 若干名

(理事長)

第11条 理事長は、本会を代表し、会務を執行する。

2 理事長は、理事会で理事の中から互選し、総会の承認を得て決定する。

3 理事長の任期は3年とし、再任を妨げない。

(副理事長)

第12条 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故あるときその業務を代行する。

2 副理事長は理事の中から互選し、理事会の承認により決定する。

3 副理事長の任期は3年とし、再任を妨げない。

(理事)

第13条 理事は、理事会を組織し、本会の事業ならびにこれに伴う予算を含む運営について協議し、議決する。

2 理事は、本会の総務、会計渉外、編集などの企画運営を担当する。

3 常任理事は、本会の総務、会計渉外、編集などの企画運営の相談・調整を担当する。

4 理事は、評議員の中から互選により選出する。選出の方法は、別に定める。

5 理事の任期は3年とし、再任を妨げない。

(監事)

第14条 監事は、本会の会務を監査し、理事会に報告するとともに、本会の会計および資産を監査する。

2 監事は、評議員の中から互選により選出する。選出の方法は、別に定める。

3 監事の任期は3年とし、再任を妨げない。

(評議員)

第15条 評議員は、評議員会を組織し、理事長の諮問に応じ、本会の運営に関する事項を審議する。

2 評議員は、正会員の中から互選により選出する。選出の方法は、別に定める。ただし、任期中に欠員が生じてもこれを補充しない。

3 評議員の任期は3年とし、再任を妨げない。

(学術集会会長)

第16条 本会は、毎年1回学術集会を主宰するために、学術集会会長を置く。

2 学術集会会長は、理事会の推薦により、評議員会で会員の中から選出し、総会の承認を得る。

3 任期は1年とする。

4 学術集会会長は、理事会、評議員会に参加することができる。

第5章 会議

(会議の種類)

第17条 本会の運営のために、次の会議を開催する。

(1) 総会

(2) 理事会

(3) 評議員会

(4) 編集委員会

(5) 研究奨励会委員会

(総会)

第18条 本会の総会は、年1回理事長が招集して開催する。

2 総会は、本会の目的が定める事項のほか、次の事項を議決する。

(1) 事業計画および収支予算

(2) 事業報告および収支決算

(3) その他理事会が必要と認めた事項

3 理事会が必要と認めたとき、評議員会の議決があったときおよび会員の過半数以上から目的を示して総会の開催の請求があったときには、理事長は、臨時総会を開催しなければならない。

4 総会は、会員の10分の1以上の出席がなければ、議事を開き、議決することはできない。

5 総会の議長は、理事長があたり、議事は、出席会員の過半数をもって決し、賛否同数の場合は、議長が決する。

(理事会)

第19条 本会は、会務を担当し取りまとめるために、理事会を組織し、年1回以上開催する。

2 理事会は、理事長が招集し、議長は理事長があたる。

3 理事会は、理事の過半数の出席がなければ議事を開き、議決することができない。

4 理事会における議事は、出席理事の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

- 5 理事の3分の1以上から会議に付議すべき事項を示して理事会を開催する請求があったときは、理事長は、遅滞なく臨時理事会を開催しなければならない。

(評議員会)

第20条 本会は、理事長の諮問に応じ重要事項を審議するため評議員を置き、評議員会を組織する。

- 2 評議員会は、年1回定例に理事長が招集し、議長は、理事長があたる。
- 3 評議員の3分の2から請求があり、かつ、理事会が必要と認めたときは、理事長は、臨時に評議員会を招集しなくてはならない。
- 4 評議員会は、評議員の過半数以上の出席がなければ、議事を開き、議決することはできない。

(編集委員会)

第21条 編集委員会は、会誌の編集および発行を行う。

- 2 編集委員会は理事会で選出された次の委員をもって組織する。

- (1) 理事 3名
- (2) 評議員 2名
- (3) 正会員 相当数

- 3 委員長は編集委員会において理事の中から選出する。

- 4 委員の任期は3年とし再任を妨げない。

(研究奨励会委員会)

第22条 研究奨励会委員会は、本会の運営、審査等の事業にあたる。

- 2 研究奨励会委員会は、理事会より推薦された若干名の委員によって委員会を設ける。

- 3 委員長は研究奨励会委員会において互選し選出する。

- 4 委員の任期は3年とし再任を妨げない。

第6章 会計

(会計)

第23条 本会の運営は、入会金、会費および本会の事業に伴う収人などによって行う。

- 2 本会の会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

(入会金、会費)

第24条 会員の入会金は、2,000円とする。

- 2 本会の年会費は、会員5,000円、学生会員(大学生・大学院生を含む)3,000円、賛助会員(1口)30,000円とする。

第7章 会則の変更

(会則の変更)

第25条 会則の変更は、理事会および評議員会の議を経て、総会の議決によって行う。

第8章 補則

(委任)

第26条 本会則の施行について必要な事項は、理事会の議決を経て、別に定める。

附 則

- 1 この会則は、平成9年8月30日から施行する。
- 2 本会設立当初の役員は、第10条の規定にかかわらず、次のとおりとする。
 - (1) 理事長 高橋みや子
 - (2) 副理事長 1名
 - (3) 常任理事 8名
- 3 平成10年8月29日 一部改正施行する。
- 4 平成11年8月28日 一部改正施行する。
- 5 平成12年8月25日 一部改正施行する。

評 議 員 選 出 規 程

(評議員の選出)

第 1 条 この規程は、北日本看護学会会則第 15 条に規定する評議員の選出に関して必要な事項を定めるものとする。

(地区・定数)

第 2 条 全国を付表に示す地区に分け、夫々登録した地区の会員数の約 3% (四捨五入とする) を地区の評議員定数とする。

(選挙資格)

第 3 条 会員で選挙の公示までに会費を完納した者は評議員を選出する資格を有するものとする。

(被選出資格)

第 4 条 評議員の被選出者となる資格は、会員となって 3 年以上の者で選挙公示の日までに会費を完納している者とする。

(選挙公示)

第 5 条 評議員任期満了の 1 年前の理事長が評議員就任の期間を明示して、評議員選挙を公示する。

(選挙管理委員会)

第 6 条 評議員の互選により選挙管理委員 3 名を選出し、理事長が委嘱し選挙管理委員会を組織する。

2 互選により選挙管理委員長を選出し理事長が委嘱する。

(投票締切日の公示)

第 7 条 選挙管理委員会の協議により投票締切日を決定し、会員に公布する。

2 投票締切日は年度末 3 カ月以上前に決定すること。

第 8 条 選挙管理委員会は、地区別選挙人登録者名簿および被選出者登録名簿を作成し、定めた締切日 1 カ月前までに選挙人である会員に配布しなくてはならない。

第 9 条 投票は郵送により行い、投票用紙、投票用紙入れ密封封筒および返送用封筒を各選挙人に配布し、定められた投票締切日までに投票を完了するよう文書で徹底周知させる。

2 投票締切日消印は有効とする。

第 10 条 規程による投票用紙は、登録地区評議員定数による連記制とする。

(投票締切)

第 11 条 投票締切日消印の投票封筒の到着をもって締め切る。

(開票)

第 12 条 開票は、選挙管理委員全員が立ち合いのうえ行う。

(無効票, 有効票)

第 13 条 投票用紙に地区定数以上の者に○印を記入したものは、その投票用紙について全員無効とする。

2 ○印が地区定数に満たない投票用紙については、その○印を付した者の得票として有効とする。

3 ○印以外の印 (例えば×印, △印等) が記入されたものは、その者については無効とする。

4 ○印のほかに称号, 敬称等の記入は有効とする。

(得票および名簿作成)

第 14 条 各地区毎、得票数上位の者により定数枠内の者を該当者とし、これに次点者を明示して加えて、票数を記載せずに名簿を作成し、理事会に提出する。

2 最下位得票者に同数の者のある場合は、同得票である旨を明示して名簿に加える。この場合には次点者は設けない。

3 次点者に同得票数の者のある場合も同様に、明示して名簿に加えて記載する。

(理事長の推薦)

第 15 条 理事長は必要に応じ、この選出方法とは別に若干名を評議員として理事会に推薦する事が出来る。

(評議員の決定)

第 16 条 理事会は、選挙管理委員会の報告と、理事長による推薦者について地区毎に審査し、評議員を決定する。

附則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成9年8月30日より施行する。
- 2 平成10年8月29日 一部改正施行する。

<付表>

地区別

番号	地区名	都道府県名
1	北海道	北海道
2	青森	青森
3	岩手	岩手
4	宮城	宮城
5	秋田	秋田
6	山形	山形
7	福島	福島
8	関東	千葉、茨城、栃木、群馬、新潟
9	東京	東京、埼玉、山梨、長野
10	東海	神奈川、岐阜、静岡、愛知、三重
11	近畿・北陸	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、福井、富山、石川
12	中国・四国	島根、鳥取、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
13	九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

理事・監事選出規程

(理事・監事の選出)

第1条 この規程は、本会会則第13条、14条による理事・監事の選出に関して必要な事項を定めるものとする。

(定数)

第2条 理事は20名以内とし、地区評議員数に応じて配分する。

第3条 監事は2名とする。

(選出)

第4条 理事は、新評議員が各地区の新評議員の中から理事定数の連記により選出する。

第5条 監事は、新評議員の中から理事会が推薦し、新評議員で決定する。

(投票締切日)

第6条 (削除)

(開票)

第7条 開票は、選挙管理委員（評議員選出規程による選挙管理委員が兼ねる）全員の立会いのうえ行う。

(無効票・有効票)

第8条 投票用紙に定数以上の者に○印を記入したものは、その投票用紙については全員無効とする。

2 ○印が定数にみたない投票用紙については、その○印を付した者の得票として有効とする。

3 ○印以外の印（例えば、×印、△印等）が記入された者については、その者については無効とする。

4 ○印の他に称号、敬称等の記入は有効とする。

(得票および名簿作成)

第9条 得票数上位の者により定数枠内の者を該当者とし、票数を記載せずに名簿を作成し、理事会に提出する。

2 最下位得票者に同数の者がある場合は、同得票である旨明示して名簿に加える。

(理事の決定)

第10条 理事長は、選出された新理事を理事会に報告し、理事会の承認を得る。

附則

(施行期日)

1 この規程は、平成9年8月30日より施行する。

2 平成12年8月25日 一部改正施行する。

理事会・評議員会報告

持ち回り理事会

期 日：2004年8月11日(水)

議 題：

1. 審議事項
 - 1) 北日本看護学会誌投稿規定の改訂について

第1回理事会・評議員会

日 時：2004年8月29日(日) 9時30分～10時30分

場 所：東北大学医学部保健学科 大会議室

出席者：15名

議 題：

1. 報告事項
 - 1) 理事会・評議員会報告
 - 2) 庶務報告
 - 3) 編集委員会報告
 - 4) 研究奨励会報告
 - 5) その他
2. 審議事項
 - 1) 第9回学術集会会長の選出
 - 2) 会計報告
 - 3) 北日本看護学会誌投稿規定の改訂について
 - 4) 学会誌および抄録集の電子化について
 - 5) 北日本看護学会研究奨励会研究奨励金の増額について
 - 6) 北日本看護学会プライバシーポリシー（会員情報保護方針）について
 - 7) 事業計画案
 - 8) 予算案
 - 9) その他

北日本看護学会評議員名簿

(敬称略・順不同)

氏名	所属	備考
河野 總子	北海道医療大学	北海道地区
笹本 真樹子	八戸市立市民病院	青森地区
浅沼 宏子	盛岡赤十字病院	岩手地区
浅沼 優子	岩手県立大学看護学部	岩手地区
武田 利明	岩手県立大学看護学部	岩手地区
石井 範子	秋田大学医学部保健学科	秋田地区
浅沼 良子	東北大学医療技術短期大学部看護学科	宮城地区
伊藤 尚子	元東北文化学園大学医療福祉学部保健福祉科	宮城地区
高瀬 千工	東北大学附属病院	宮城地区
武田 淳子	宮城大学看護学部	宮城地区
遠藤 芳子	山形県立保健医療大学	山形地区
川村 良子	山形済生病院	山形地区
久米 和興	名古屋市立大学看護学部	山形地区
小林 淳子	山形大学医学部看護学科	山形地区
小松 万喜子	山形大学医学部看護学科	山形地区
塩飽 仁	東北大学医学部保健学科	山形地区
高橋 みや子	山形大学医学部看護学科	山形地区
布施 淳子	山形大学医学部看護学科	山形地区
渡辺 皓	山形大学医学部看護学科	山形地区
竹村 真理	新潟大学医学部保健学科	関東地区
佐々木 和子	国立看護大学校	東京地区

(任期：平成15年4月1日～平成18年3月31日)

北日本看護学会理事名簿

(敬称略・順不同)

役 職	氏 名	所 属
理事長	高橋 みや子	山形大学医学部看護学科
副理事長	塩飽 仁	東北大学医学部保健学科
理事 (庶務)	布施 淳子	山形大学医学部看護学科
	小松 万喜子	山形大学医学部看護学科
	浅沼 宏子	盛岡赤十字病院
	伊藤 尚子	元東北文化学園大学医療福祉学部保健福祉科
	高瀬 千工	東北大学附属病院
理事 (編集)	小林 淳子	山形大学医学部看護学科
	渡辺 皓	山形大学医学部看護学科
	浅沼 優子	岩手県立大学看護学部
理事 (研究奨励)	武田 利明	岩手県立大学看護学部
	武田 淳子	宮城大学看護学部
	佐々木 和子	国立看護大学校
理事 (会計)	川村 良子	山形済生病院
	遠藤 芳子	山形県立保健医療大学

(任期：平成15年4月1日～平成18年3月31日)

評議員 (監事)	石井 範子	秋田大学医学部保健学科
	久米 和興	名古屋市立大学看護学部

(任期：平成15年4月1日～平成18年3月31日)

庶務報告

1. 組織について

1) 入会, 会員手続きに関する事務

(1) 2003年4月1日から2004年3月31日までの新入会員数

正会員157名 学生会員21名 賛助会員 1名
計179名

(2004年4月1日～2004年7月31日の新入会員数

正会員64名 学生会員7名 計71名)

(2) 2004年3月31日現在の会員数

712名 (正会員: 668名, 学生会員: 43名)

(2004年7月31日現在672名 (正会員: 632名, 学生会員: 39名, 賛助会員1名))

2. 事業について

1) 第7回学術集会の開催

学会長 山形大学医学部看護学科 高橋みや子教授

会期: 2003年8月30・31日(土・日)

会場: 山形大学医学部 大講義室(1階)

参加者数: 430名 (正会員235名, 非会員195名)

2) 北日本看護学会誌発行

編集委員会報告に譲る

3) 平成16年度北日本看護学会研究奨励会研究奨励金公募

研究奨励会報告に譲る

3. 運営に関する会議

1) 総会

第7回総会の開催

会期: 2003年8月31日(日)

会場: 山形大学医学部看護学科 第1会議室

出席会員, 委任状により成立

2) 理事会・評議員会 2回

理事会・評議員会報告参照

編集委員会報告

I. 報告事項

1. 活動状況

- ・ 委員会の開催

平成 16 年 4 月 20 日, 8 月 9 日開催

平成 17 年 1 月開催予定。

2. 北日本看護学会誌第 7 巻 1, 2 号の発刊について

- ・ 学術集会講演

7 巻 2 号: 高橋みや子先生原稿掲載予定 (第 7 回学術集会会長)

- ・ 投稿論文

7 巻 1 号: 原著 4 本, 資料報告 2 本査読完了し掲載予定。

7 巻 2 号: 原著 1 本査読完了。原著 1 本, 看護活動報告 1 本が現在査読進行中。
未査読の投稿論文 2 本。いずれも査読が完了次第, 掲載可能。

- ・ 発刊予定

7 巻 1 号: 平成 16 年 11 月予定

7 巻 2 号: 平成 17 年 3 月予定

II. 協議事項

北日本看護学会誌投稿規定の改正について

(改正理由) 投稿原稿の種類, 構成に関する加筆・修正及び投稿原稿表紙を導入するとともに,
その他規定の整備を行うものである。

資料 8 - 1 北日本看護学会誌投稿規定 現 行

資料 8 - 2 北日本看護学会誌投稿規定 改正案

資料 8 - 3 投稿原稿表紙 (案)

資料 8 - 4 北日本看護学会誌編集委員会規程

北日本看護学会誌投稿規定（現行）

1. 本誌への投稿は共著者も含めて本学会会員であることを原則とする。
2. 他誌に発表された原稿（予定も含む）の投稿は認めない。
3. 本誌は原則として投稿原稿およびその他によって構成される。
 - 1) 投稿原稿の種類とその内容は表 1 のとおりとする。

下線：投稿規定改訂案にて加筆および修正されている箇所

表 1 投稿原稿の種類

種類	内容	制限枚数
1. 論壇 Sounding Board	看護の活動，政策，動向などについての提案・提言	5 頁（8000 字）
2. 総説 Review Article	研究・調査論文の総括および解説	1 2 頁（19200 字）
3. 原著 Original Article	独創的な研究論文および科学的な観察	1 2 頁（19200 字）
4. 短報 Short communication	独創的な研究の短報または手法の改良・提起に関する論文	5 頁（8000 字）
5. 看護活動報告 Nursing Report	<u>看護活動に関する実践報告（事例報告）</u>	1 0 頁（16000 字）
6. 資料報告 Information	<u>看護学上有用な資料（実態調査）</u>	<u>1 0 頁（16000 字）</u>
7. 会員の声 Letter	掲載論文に対する意見，海外事情，関連学術集会の報告など	1 頁（1600 字）

本誌には上記のほか編集委員会が認めたものを掲載する。（刷上り 1 頁は 4 0 0 字詰原稿用紙の ほぼ 4 枚に相当する）

本誌には上記のほか編集委員会が認めたものを掲載する。

- 2) 投稿原稿のうち，3～6の構成は原則として表 2 のとおりとする。
（表 2 の構成によらない場合は投稿の際その理由を付すこと）

表2 投稿原稿の構成

項目	準ずる項目	内容
抄録	要旨, まとめ	目的・方法・知見のまとめ (300語以内), 英語で
キーワード		6個以内, 英語で
I 緒言	はじめに, まえがき	研究の背景・目的
II 研究方法	方法と対象・材料等	研究・調査・実験・解析に関する手法の記述および資料・材料の集め方
III 研究結果	結果	研究等の結果・成績
IV 考察	考案	結果の考察・評価
V 結語	おわりに, あとがき	結論 (省略も可)
文献		文献の記載は 5. 10) に従う

4. 編集委員会は投稿原稿について修正を求めることがある。修正を求められた原稿はできるだけ速やかに再投稿すること。返送の日より3か月以上経過して再投稿されたものは、新投稿として扱うことがある。
5. 投稿原稿の執筆要領
- 1) 原稿はワープロでA4判, 横書き 800 字詰 (25×32 行) で提出する。図表 1 つは 400 字程度とみなし, 図表を含めた上での制限枚数とする。
 - 2) 新かなづかいを用い, 楷書でできるだけ簡潔に記述する。誤字やあて字が多く, 日本文として理解が困難な場合は返却することがある。
 - 3) 投稿原稿は原則として日本文とする。外国語の原稿を投稿する場合は事務局に問い合わせること。ただし, 図, 表および写真の説明は英文で記載してもよい。
 - 4) 数字は算用数字を用い, 単位や符号は慣用のものを用いる。
 - 5) 特殊な, あるいは特定分野のみで用いられている単位, 符号, 略号ならびに表現には必ず簡単な説明を加えること。
 - 6) 外来語は片かなで書く。外国人や適当な日本語訳のない述語などは原綴を用いる。ローマ字は活字体 (なるべくタイプ) を用い, イタリック体で記述する場合はアンダーラインで示す。
 - 7) 図, 表および写真には図 1, 表 1 および写真 1 などの番号をつけ本文とは別にまとめておき, 原稿の欄外にそれぞれの挿入希望位置を指定する。
 - 8) 原稿には表紙を付し, 上半分には表題 (英文表題も併記), 希望する原稿の種類, 別冊必要部数, 原稿枚数, 図表および写真の枚数を書き, キーワード (英語) を記す。下半分には, 著者名 (ローマ字も併記, 所属機関名 (英文名も併記), 編集委員会への連絡事項および連絡者の氏名および連絡先 (所属機関, 所在地, 電話, ファクシミリ) などを付記する (2 枚にわたってもよい)。
異なる機関に所属する者の共著である場合は, 各所属機関に番号をつけて氏名欄の下に一括して示し, その番号を対応する著者の氏名の右肩に記す。英文抄録についても同様とする。

9) 原稿には 300 語以内の英文抄録およびその和訳（これは掲載しない）をつけること。ただし、論壇、看護活動報告、資料報告、会員の声については、これを省略することができる。英文抄録は専門家によるチェックを受け、表題、著者名、所属、キーワードおよび本文の順にタイプ（ダブルスペース）する。

10) 文献の記載様式

(1) 文献は本文の引用箇所の肩に (1), (2, 3), (4-7) などの番号で示し、本文の最後一括して引用番号順に記載する。文献の著者が 3 人までは全員、4 人以上の場合は筆頭者名のみ挙げ、-- , 他とする。

(2) 雑誌などの略名は、邦文誌は日本医学雑誌略名表（日本医学図書協会編）に、欧文誌は Index Medicus に従って記載する（雑誌所定のものがあればこれを用いる）。

(3) 記載方法は下記の例に従う。

① 雑誌の場合

標準的雑誌論文の場合（全著者名を書くが、6 人を越える場合は 6 人の名前を書き、その後に et al.をつける。

You CH, Lee KY, Chey RY, Menguy R. Electrogastrographic study of patients with unexplainednausea, bloating and vomiting. Gastroenterology 1980 Aug ; 79 (2) : 311-4.

② 単行本の場合

Colson JH. Armour WJ. Sports injuries and their treatment 2nd rev. ed. London : S. Paul. 1986

③ 詳細は生物医学雑誌投稿に関する統一規定（あいみつく 12 (3) : 16-25, 1991）を参照してください。

6. 投稿原稿は本文、図、表、写真、抄録などもすべて正 1 部、副 2 部（表紙、英文抄録の氏名、所属は記載しない）を送付する。副本は複写でもよい。なお、原稿以外に原稿の入ったフロッピー（3.5inch OS 名、ワープロソフト名、Version を明記）し送付すること。

7. 投稿原稿送付の際は封筒の表に「北日本看護学会誌原稿」と朱書し、下記の簡易書留で郵送する。

〒990-9585 山形市飯田西 2-2-2

山形大学医学部看護学科内

北日本看護学会誌編集委員会

8. 投稿原稿の採否は編集委員会で審議し決定する。掲載原稿の著作権は本学会に帰属する。

9. 編集委員会で修正を求められ再投稿する場合は、指摘された事項に対応する回答を別に付記するものとする。

10. 初校は著者が原稿の控えを用いて行う。校正の際の加筆は認めない。

11. その他、本規定に関する問い合わせは事務局へ。Fax 090-8424-0830

〈投稿料〉 無料

〈掲載料〉 無料

ただし、図表などを編集する必要がある場合、その代金は著者負担とする。

〈別刷料〉 有料

別刷は 30 部以上で申し込むものとする。別刷代は著者負担とする。

北日本看護学会誌投稿規定（改正案）

1. 本誌への投稿は共著者も含めて本学会会員であることを原則とする。
2. 他誌に発表された原稿（予定も含む）の投稿は認めない。
3. 本誌は原則として投稿原稿およびその他によって構成される。
 - 1) 投稿原稿の種類とその内容は表 1 のとおりとする。

下線：現行の投稿規定に加筆
または修正

表 1 投稿原稿の種類

種類	内容	制限枚数
1. 論壇 Sounding Board	看護の活動，政策，動向などについての 提案・提言	5 頁（8,000 字）
2. 総説 Review Article	研究・調査論文の総括および解説	12 頁（19,200 字）
3. 原著 Original Article	独創的な研究論文および科学的な 観察	12 頁（19,200 字）
4. 短報 Short communication	独創的な研究の短報または手法の改良・ 提起に関する論文	5 頁（8,000 字）
5. 看護活動報告 Nursing Report	看護活動に関する実践報告（事例報告， 技術・実践報告など）	10 頁（16,000 字）
6. 資料報告 Information	<u>原著論文ほどまとまった形ではないが</u> 看護学上有用な資料	<u>12 頁（19,200 字）</u>
7. 会員の声 Letter	掲載論文に対する意見，海外事情， 関連学術集会の報告など	1 頁（1,600 字）

本誌には上記のほか編集委員会が認めたものを掲載する。

- 2) 投稿原稿のうち，3～6の構成は原則として表 2 のとおりとする。
（表 2 の構成によらない場合は投稿の際その理由を付すこと）

表 2 投稿原稿の構成（原著，短報，看護活動報告，資料報告）

項目	準ずる項目	内容
抄録	要旨，まとめ	目的・方法・知見のまとめ <u>原稿には和文抄録（400 字以内），英文抄録（300 語以内）をつける。ただし，看護活動報告，資料報告については，和文抄録のみも可。</u>
キーワード		6 語以内，日本語・英語
I 緒言	はじめに，まえがき	研究の背景・目的
II 研究方法	方法と対象・材料等	研究・調査・実験・解析に関する手法の記述および資料・材料の集め方
III 研究結果	結果	研究等の結果・成績
IV 考察	考察	結果の考察・評価
V 結語	おわりに，あとがき	結論（省略も可）
文献		文献の記載は 5. 10) に従う

4. 編集委員会は投稿原稿について修正を求めることがある。修正を求められた原稿はできるだけ速やかに再投稿すること。返送の日より3か月以上経過して再投稿されたものは、新投稿として扱うことがある。
5. 投稿原稿の執筆要領
 - 1) 原稿はワープロでA4判、横書き800字詰(25×32行)で提出する。図表1つは400字程度とみなし、図表を含めた上での制限枚数とする。刷上り1頁は400字詰原稿用紙のほぼ4枚に相当する。
 - 2) 新かなづかいを用い、楷書でできるだけ簡潔に記述する。誤字やあて字が多く、日本文として理解が困難な場合は返却することがある。
 - 3) 投稿原稿は原則として日本文とする。外国語の原稿を投稿する場合は事務局に問い合わせること。ただし、図、表および写真の説明は英文で記載してもよい。
 - 4) 数字は算用数字を用い、単位や符号は慣用のものを用いる。
 - 5) 特殊な、あるいは特定分野のみで用いられている単位、符号、略号ならびに表現には必ず簡単な説明を加えること。
 - 6) 外来語は片かなで書く。外国人や適当な日本語訳のない述語などは原綴を用いる。ローマ字は活字体(なるべくタイプ)を用い、イタリック体で記述する場合はアンダーラインで示す。
 - 7) 図、表および写真には図1、表1および写真1などの番号をつけ本文とは別にまとめておき、原稿の右側余白にそれぞれの挿入希望位置を朱書きで指定する。また、図表は著者作成のままオフセット印刷する。
 - 8) 所定の投稿原稿表紙に必要事項を記入し原稿に添付する。希望する原稿の種類、別刷必要部数、原稿枚数、図表および写真の枚数、キーワード、著者名、編集委員会への連絡事項および連絡者の氏名および連絡先(所属機関、所在地、電話、ファクシミリなど)を記載する(2枚にわたってもよい)。表題、キーワード、所属機関名は英文を、また氏名はローマ字を付記する。
 - 9) 会員の声を除く原稿には和文抄録(400字以内)および英文抄録(300語以内)をつけること。ただし、論壇、看護活動報告、資料報告については、和文抄録(400字以内)のみとすることができる。英文抄録は専門家によるチェックを受け、表題、著者名、所属、キーワードおよび本文の順にタイプ(ダブルスペース)する。
 - 10) 文献の記載様式
 - (1) 文献は本文の引用箇所の肩に(1)、(2)、(3)、(4-7)などの番号で示し、本文の最後一括して引用番号順に記載する。文献の著者が3人までは全員書き、4人以上の場合は筆頭者3人のみ挙げ、○○他とする。
 - (2) 雑誌などの略名は、邦文誌は日本医学雑誌略名表(日本医学図書協会編)に、欧文誌はIndex Medicusに従って記載する(雑誌所定のものがあればこれを用いる)。

(3) 記載方法は下記の例に従う。

① 雑誌の場合

標準的雑誌論文の場合

番号) 著者名. 表題. 雑誌名 発行年 (西暦) : 巻 (号) : 始ページ-終ページ.

ー例ー 1) 山形花子, 飯田太郎, 花笠一郎他. 在宅療養患者への看護援助の一考察.

北日本看護学会誌 1998 : 1(2) : 23-27.

2) You CH, Lee KY, Chey RY, et al.. Electrogastrographic study of patients with unexplained nausea, bloating and vomiting. Gastroenterology 1980 Aug : 79 (2) : 311-314.

② 単行本の場合

番号) 著者名. 書名. 出版地 : 出版社. 発行年 (西暦) : 始ページ-終ページ.

ー例ー 1) 看護華子. 北日本の看護学. 山形 : 北日本看護学会出版. 1998 : 74-76.

2) Colson JH. Armour WJ. Sports injuries and their treatment 2nd rev. ed. London : S. Paul. 1986 : 56-65.

③ 電子文献の場合

番号) 著者 : タイトル, 入手日, アドレス

ー例ー いろは学会 : いろは学会投稿マニュアル. 2000-05-30

<http://irohaa/jrnl/manual.html>

6. 投稿原稿は本文, 図, 表, 写真, 抄録などもすべて正1部, 副2部を送付する。副本は複写でもよい。なお, 原稿以外に原稿の入ったフロッピー (3.5inch, OS名, ワープロソフト名, Versionを明記) を送付すること。

10. 投稿原稿送付の際は封筒の表に「北日本看護学会誌原稿」と朱書し, 下記の簡易書留で郵送する。

〒990-9585 山形市飯田西 2-2-2

山形大学医学部看護学科内 北日本看護学会誌編集委員会

11. 投稿原稿の採否は編集委員会で審議し決定する。掲載原稿の著作権は本学会に帰属する。

12. 原稿が到着した日を原稿受付日とする。原稿は随時受けつける。

10. 編集委員会で修正を求められ再投稿する場合は, 指摘された事項に対応する回答を別に付記するものとする。

11. 初校は著者が原稿の控えを用いて行う。校正の際の加筆は認めない。

12. その他, 本規定に関する問い合わせは事務局へ。Fax 090-8424-0830

〈投稿料〉 無料

〈掲載料〉 無料

ただし, 図表などを編集する必要がある場合, その代金は著者負担とする。

〈別刷料〉 有料

別刷は30部以上で申し込むものとする。別刷代は著者負担とする (30部 6,000円, 31~79部 7,000円, 80部以上 8,000円, それ以上 20部毎プラス 1,000円)。

付則

1) 2002年11月1日一部改正実施する

2) 2004年8月29日一部改正実施する (平成16年度総会での採択後改正実施となる)

北日本看護学会 投稿原稿表紙 (案)

年 月 日

和文表題			
英文表題			
希望する 原稿の種類	1. 論壇 5. 看護活動報告	2. 総説 6. 資料報告	3. 原著 7. 会員の声
別刷必要部数	_____部		
原稿枚数	_____枚		
図表および 写真の枚数	図_____枚, 表_____枚, 写真_____枚		
キーワード (6語以内)	日本語	1. _____ 2. _____ 3. _____ 4. _____ 5. _____ 6. _____	
	英語	1. _____ 2. _____ 3. _____ 4. _____ 5. _____ 6. _____	
著者名	会員 番号	氏名 日本語/ローマ字	所属機関名 日本語/英文名
編集委員会へ の連絡事項			
連絡先	氏名		
	所属機関		
	所在地		
	電話		
	FAX		
	e-mail		

北日本看護学会誌編集委員会規程

1. 名 称

本会は、北日本看護学会誌編集委員会（編集委員会）とする。

2. 目的

本会は会則第 4 条第 3 項による学会誌の発行に関わる企画運営のために、会則第 2 1 条第 1 項に基づいて置かれる。

3. 委員会

本会の運営は、北日本看護学会理事中より若干名の委員を選出する。任期は役員在任期間とし、再任を妨げない。

2) 委員の中から委員長を互選する。委員長は本会を総務する。

4. 査読

委員会はあらかじめ査読委員を若干名選出し、理事会の議を経て北日本看護学会誌に広告する。

2) 会員以外の査読者には手当を支給することができる。

3) 任期は役員在任期間とし再任を妨げない。

4) 投稿された論文の査読は 3 名以上（委員長を含めて）の査読者で行う。

5. この規定は平成 12 年 4 月 1 日より発効する。

研究奨励会報告

1. 北日本看護学会研究奨励会の平成 16 年度研究奨励金について

募集期間：平成 16 年 4 月 1 日～6 月 30 日

応募件数：7 件

審査期間：平成 16 年 8 月 12 日～8 月 25 日

審査結果：全件採択

ただし、下表の No.1, 2, 3, 6, 7 の課題については条件付き採択とする。

応募者に審査員のコメントを伝え、研究計画の修正を行うことを条件に採択とする。

2. 平成 16 年度北日本看護学会研究奨励会研究奨励金採択課題

No.	研究代表者	所属機関	研究課題	交付金
1	小山田信子	東北大学医学部保健学科看護学専攻	地方における近代看護教育成立過程の研究	7 万円
2	富樫恵子	鶴岡市立荘内看護専門学校	学生の倫理的感受性の高まりに焦点をあてた看護学教員の臨地実習指導経験の分析	5 万円
3	大沼優子	山形市立病院済生館高等看護学院	第二次世界大戦後の GHQ の看護教育改革と山形市立病院済生館における甲種看護婦養成所の設立の経緯	6 万円
4	高橋望都美	山形大学大学院医学系研究科看護学専攻	思春期の小児糖尿病患者児における親子関係、社会的スキル、主観的統制感と血糖コントロールの関連	5 万円
5	平賀愛美	山形大学大学院医学系研究科看護学専攻	新卒看護師とプリセプターのリアリティショックに関する認識の相違	5 万円
6	門馬靖武	山形大学大学院医学系研究科看護学専攻	尿路結石摘出術のケア場面における看護師の行動特性とその患者評価	6 万円
7	沼館紀子	仙台市立病院	分娩時の助産師の会話及び発語の分析	6 万円

2003年度会計報告

1. 2003年度会計決算(案)

自 2003年4月1日

至 2004年3月31日

<収入の部>

項 目	2003年度予算	2003年度決算	備 考
1. 年会費	3,340,000	3,534,000	
(正会員)	3,250,000	3,405,000	5,000×681件
(学生会員)	90,000	129,000	3,000×43件
2. 入会金	200,000	368,000	2,000×184件
3. 繰越金	2,078,497	2,078,497	2002度より繰り越し
4. 貯金利子		99	貯金利子
5. 振込金間違い		49,103	振込金間違い
合 計	5,618,497	6,029,699	

自 2003年4月1日

至 2004年3月31日

<支出の部>

項 目	2003年度予算	2003年度決算	備 考
1. 学術集会・総会補助費	1,000,000	1,000,000	第7回北日本看護学会学術集会補助金
2. 研究奨励金	300,000	300,000	平成15年度奨励研究
3. 印刷費	1,400,000	380,062	年会費請求, 学会誌(2号分), 封筒, 他
4. 通信費	300,000	74,832	電話・FAX料金
5. 郵送費	800,000	400,910	はがき, 切手
6. 事務局運営費	350,000	30,581	
(備品費)	150,000	0	
(事務用品)	100,000	0	
(消耗品費)	100,000	30,581	宛名ラベル, 封筒, 他
7. 会議費	250,000	90,020	
(理事会)	50,000	0	
(評議員会)	100,000	76,790	
(編集委員会)	50,000	13,230	
(奨励会委員会)	50,000	0	
8. 人件費	950,000	275,200	
(臨時雇用)	200,000	2,500	
(事務作業委託費)	650,000	272,700	
(旅費等)	100,000	0	出張時交通費など
9. 予備費	168,497	62,283	間違い入金返金, 銀行振込手数料, 他
小 計	5,618,497	2,613,888	
10. 次期繰越金		3,415,811	
合 計	5,618,497	6,029,699	

2. 会計監査報告書

2003年度における北日本看護学会の現金出納帳, 予算差引簿, 領収書綴り並びに郵便貯金などについて照会した結果, 適正に取り扱われていることを確認いたしました。

2004年6月5日

北日本看護学会

監 事 久米 和興 ㊟

監 事 石井 範子 ㊟

2004年度事業計画（案）

1. 北日本看護学会学術集会の開催
 - 2) 第8回学術集会の開催
学会長 山形大学医学部看護学科 塩飽 仁 教授
会期：2004年8月28日（土）・29日（日）
会場：東北大学医学部
 - 1) 第9回学術集会の開催準備
学会長 秋田大学医学部保健学科 石井 範子 教授
会期：2005年 月 日（土）・ 日（日）
会場：秋田市
2. 北日本看護学会誌の発行
3. 平成17年度北日本看護学会研究奨励会研究奨励金の公募
資料12, 13参照
4. 北日本看護学会サーバの移設・更新
5. 学会誌および抄録集の電子化, 公開

北日本看護学会研究奨励会規程

第1条（名称）

本会を北日本看護学会研究奨励会と称する。

第2条（目的）

本会は北日本看護学会の事業の一として、看護実践の向上ならびに看護研究の推進のために研究費用の一部を贈与し、研究成果により看護学の発展に寄与することを目的とする。

第3条（資金）

本会の資金として、学会費の一部を研究奨励金に当てる。

会計年度は、4月1日より翌年3月31日迄とする。

第4条（対象）

- (1) 北日本看護学会会員として登録している者で、申請または推薦により、その研究目的、研究内容を審査の上、適当と認められた者若干名とする。
- (2) 研究責任者は(1)を満たす者で、共同研究者は全員北日本看護学会会員でなければならない。
- (3) 推薦の手続きや様式は別に定める。
- (4) 研究奨励金は対象研究課題の1年間の研究費用に充当するものとして贈る。
- (5) 研究が継続され、更に継続して研究奨励金を希望する者は、改めて申請を行うこととする。

第5条（義務）

この研究奨励金を受けた者は、対象研究課題の1年間の業績結果を、次年度北日本看護学会学術集会において口頭発表し、更に3年以内に北日本看護学会会誌に論文等で掲載義務を負うものとする。

第6条（罰金）

研究奨励金を受けた者の負う義務を怠り、また北日本看護学会会員として、その名誉を甚だしく毀損する行為のあった場合は、委員会が査問の上、贈与した研究奨励金の全額の返還を命ずることがある。

第7条（委員会）

- (1) 本会の運営、審査等の事業に当たり、北日本看護学会理事会より推薦された若干名の委員によって委員会を設ける。
- (2) 委員会に委員長を置き、本会を統括する。
- (3) 委員会は次の事項を掌務する。
 - ①財産管理及び北日本看護学会理事長への会計報告
 - ②研究奨励金授与者の選考、決定及び理事長への報告
 - ③授与者の義務履行の確認、及び不履行の査問、罰則適用の決定及び理事長への報告
 - ④研究奨励金授与者の選考及び授与者の義務履行については、別に定める。

第8条

委員会より報告を受けた事項は、北日本看護学会理事長が総会に報告する。

第9条

研究奨励金を授与する者の募集規程は、委員会に於いて別に定め、会員に公告する。

附則

- (1) 本規程は平成12年4月1日より発効する。
- (2) 平成13年9月16日一部改正施行する。

北日本看護学会研究奨励会 平成17年度奨励研究募集要項（案）

1. 応募方法

- 1) 当研究奨励会所定の申請用紙に必要事項を記入の上、4部（正本1部、コピー3部）と共に一括して学会事務局宛（後記）に書留郵便で送付のこと。
- 2) 申請用紙は返信用切手80円を添えて学会事務局宛に請求すれば郵送する。
（なお、申請用紙は北日本看護学会ホームページ（<http://www.id.yamagata-u.ac.jp/Nursing/NJANS>）からも無料で入手できます（Microsoft Word 文書ファイル、Adobe Acrobat PDF ファイル）。）
- 3) 機関に所属する応募者は所属する機関の長の承認を得て、申請者の当該欄に記入して提出すること。

2. 応募資格

北日本看護学会会員であること。

3. 応募期間

平成17年4月1日から平成17年6月30日の間に必着のこと。

4. 選考方法

北日本看護学会研究奨励会委員会は、応募締め切り後、規程に基づいて速やかに審査を行い、当該者を選考し、その結果を理事長に報告、会員に公告する。

5. 研究奨励会委員会

研究奨励会委員会は次の委員により構成される。
武田 利明（岩手県立大学看護学部）
武田 淳子（宮城大学看護学部）
佐々木和子（国立看護大学校）

6. 研究奨励金の交付

採択された者には北日本看護学会より1年間40万円以内の研究奨励金を交付する。

7. 応募書類は返却しない。

8. 研究奨励会の事務は、下記で取り扱う。

〒990-9585 山形県山形市飯田西2丁目2番2号
山形大学医学部看護学科内
北日本看護学会事務局研究奨励会

(註1) 審査の結果選考され研究奨励金の交付を受けた者は、この研究に関する全ての発表に際して、本研究奨励会研究によるものであることを明らかにする必要がある。

(註2) 奨励研究の成果は、次年度公刊される業績報告に基づいて研究奨励会委員会が検討、確認し理事長に報告するが、必要と認められた場合には指導、助言を行い、又は罰則（北日本看護学会研究奨励会規程第6条）を適用することがある。

分類	
番号	

平成 年度 北日本看護学会 研究奨励金交付申請書

平成 年 月 日

北日本看護学会 研究奨励会 御中

I. 研究者	
氏名	昭和 年 月 日生
所属機関	職名
所在地 〒	電話 FAX
自宅住所 〒	電話 FAX
電子メールアドレス	
主な所属学会	
II. 協同研究者	
氏名	
研究機関	職名
氏名	
研究機関	職名
氏名	
研究機関	職名

推薦者

氏名	印
所属機関	職名
所属機関所在地 〒	
電話	FAX
推薦理由	

(注) 申請書はワープロまたは黒ボールペンで記入し、4部(正本1部, コピー3部)お送り下さい。

分類	
番号	

研究課題
研究目的
研究計画・方法

分類	
番号	

研究助成金の使途内訳（概算）

研究業績（掲載論文，発表演題など）：題名，雑誌名，巻，頁，年月
本研究課題に関連した臨床などでの活動状況：書式自由

2004年度会計予算(案)

自 2004年4月 1日

至 2005年3月31日

<収入の部>

項 目	2003年度予算	2004年度予算	備 考
1. 年会費	3,340,000	3,340,000	
(正会員)	3,250,000	3,250,000	5,000×650名
(学生会員)	90,000	90,000	3,000×30名
2. 入会金	200,000	200,000	2,000×100名
3. 繰越金	2,078,497	3,415,811	2003年度より繰り越し
合 計	5,618,497	6,955,811	

自 2004年4月 1日

至 2005年3月31日

<支出の部>

項 目	2003年度予算	2004年度予算	備 考
1. 学術集会・総会補助費	1,000,000	1,000,000	第8回北日本看護学会学術集会補助金
2. 研究奨励金	300,000	400,000	平成16年度奨励研究
3. 印刷費	1,400,000	1,000,000	年会費請求, 学会誌(2号分), 封筒, 他
4. 通信費	300,000	150,000	電話・FAX料金
5. 郵送費	800,000	800,000	はがき, 切手
6. 事務局運営費	350,000	700,000	
(備品費)	150,000	500,000	学会専用サーバー購入費, 他
(事務用品)	100,000	100,000	
(消耗品費)	100,000	100,000	宛名ラベル, 封筒, 他
7. 会議費	250,000	250,000	
(理事会)	50,000	50,000	
(評議員会)	100,000	100,000	
(編集委員会)	50,000	50,000	
(奨励会委員会)	50,000	50,000	
8. 人件費	950,000	950,000	
(臨時雇用)	200,000	200,000	学術集会講演入稿費(学会誌), 他
(事務作業委託費)	650,000	650,000	業務委託料, 時給賃金, 通信費
(旅費等)	100,000	100,000	出張時交通費など
9. 予備費	168,497	1,705,811	間違い入金返金, 銀行振込手数料, 他
小 計	5,618,497	6,955,811	
合 計	5,618,497	6,955,811	

北日本看護学会プライバシーポリシー（案）

●会員の個人情報の保護について

入会の際および入会後にご提供いただいた個人情報は、北日本看護学会の会則に従い、学会の目的に応じた範囲内において正確な状態で管理するものとし、技術面および組織面において合理的な安全対策を講ずるものとしたします。

また、学会の利用目的以外（会員情報の貸出等）には一切使用しないものとし、会員の個人情報の適切な保護を行うこととしたします。

また、下記については理事長および副理事長が判断し、情報の利用および提供を行うものとしたします。

1. 北日本看護学会が会員情報を適切に管理および運用されていることを監査する場合。
2. 総会等で学会活動状況を把握するために集計結果を公表する場合がございますが、その場合は個人が特定できるデータとしてではなく集計結果としての公表となります。
3. 捜査機関等、法的機関による情報提供要請がある場合。ただし、捜査照会票等が学会事務局に届いた時点からとなります。